

# 2010年3月期 第2四半期決算説明会

2009年11月19日

JASDAQ



株式会社 **UEX**

(証券コード:9888)



# CONTENTS

1. 2010年3月期第2四半期決算(連結)の解説・・・P3
2. 今後の業績見通し・・・・・・・・・・・・・・・・P15
3. 補足資料・・・・・・・・・・・・・・・・P20

本資料は、2010年3月期第2四半期決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また本資料は2009年11月19日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証または約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。

# 2010年3月期第2四半期決算（連結）の概要

単位：百万円

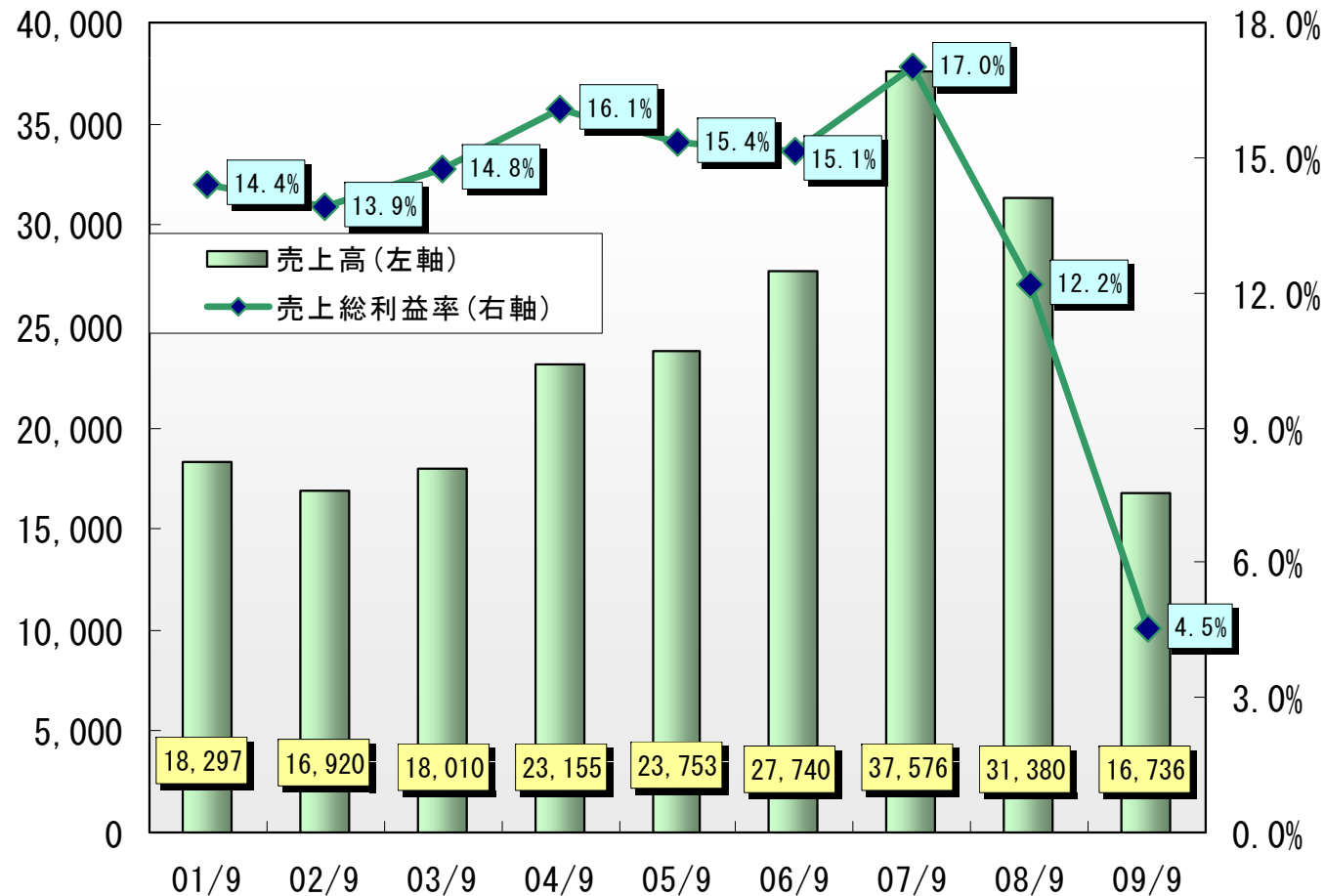
	08/9 実績	当初計画 (09/5/19)※	09/9 実績	前年 同期比	計画比
売上高	31,380	19,600	16,736	-46.7%	-14.6%
売上総利益	3,816	1,440	760	-80.1%	-47.2%
(率)	(12.2%)	(7.3%)	(4.5%)	(-7.6%pt)	(-2.8%pt)
営業利益	840	-1,070	-1,706	—	—
経常利益	726	-1,180	-1,767	—	—
純利益	446	-990	-1,682	—	—

※ その後、09/8/6に修正しております。

■ 売上高および各利益は、前期比・計画比ともに大幅減少。

# 売上高・売上総利益率推移(連結)

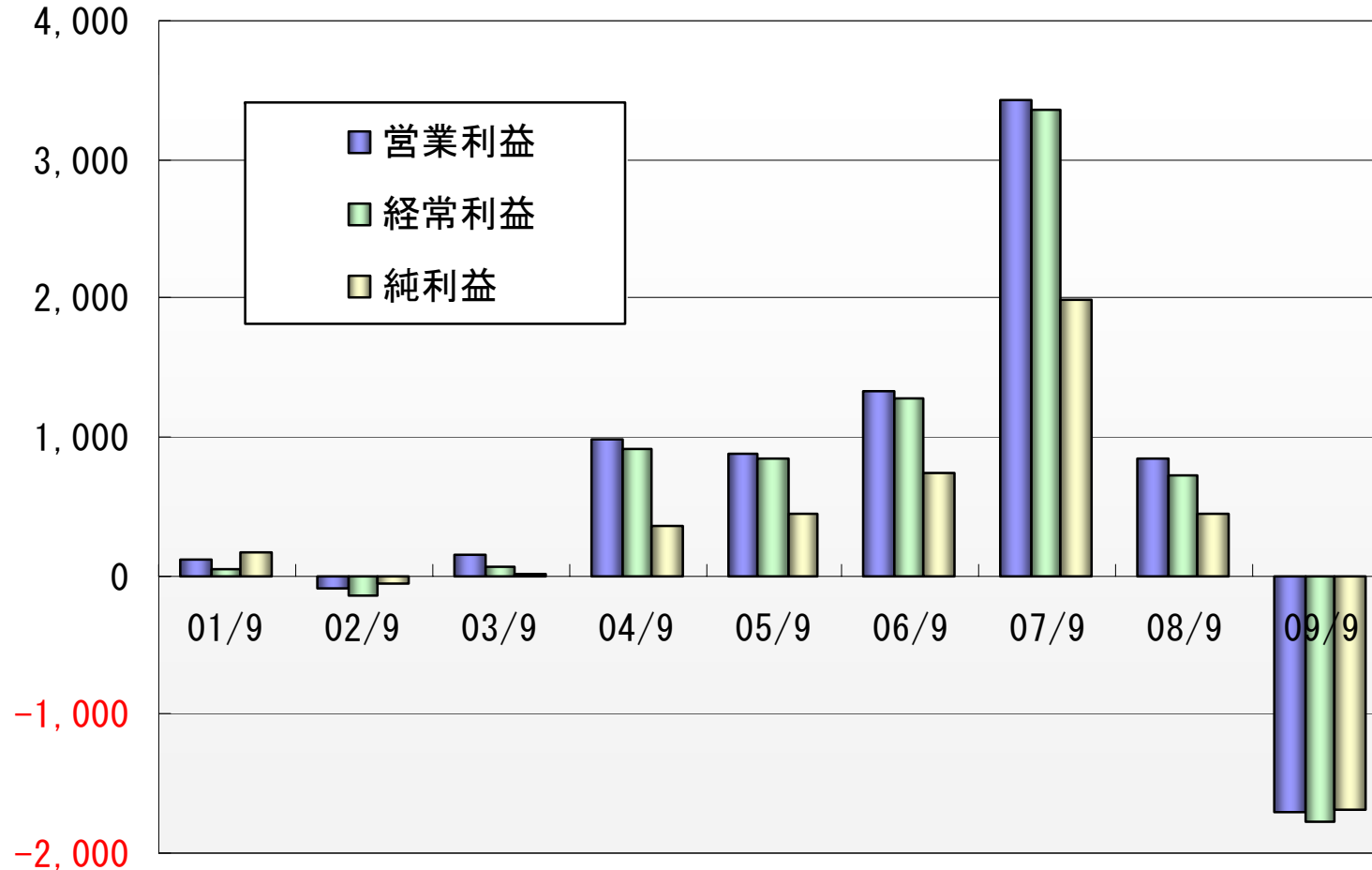
単位：百万円



■ 売上高・売上総利益率は07.9期をピークに急落。

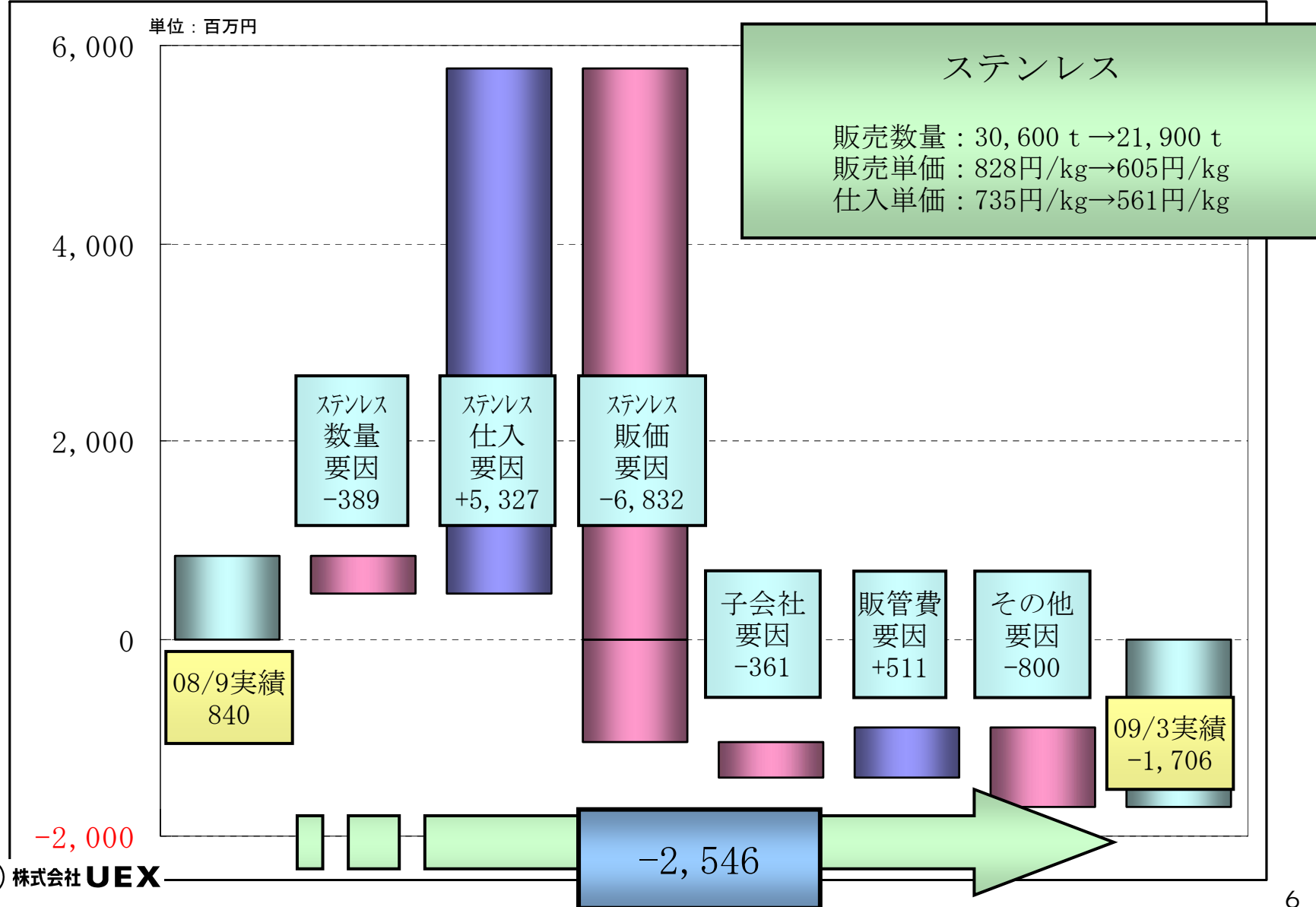
# 利益推移 (連結)

単位：百万円



■ 各純利益とも、02.9期以来7期ぶりに赤字。

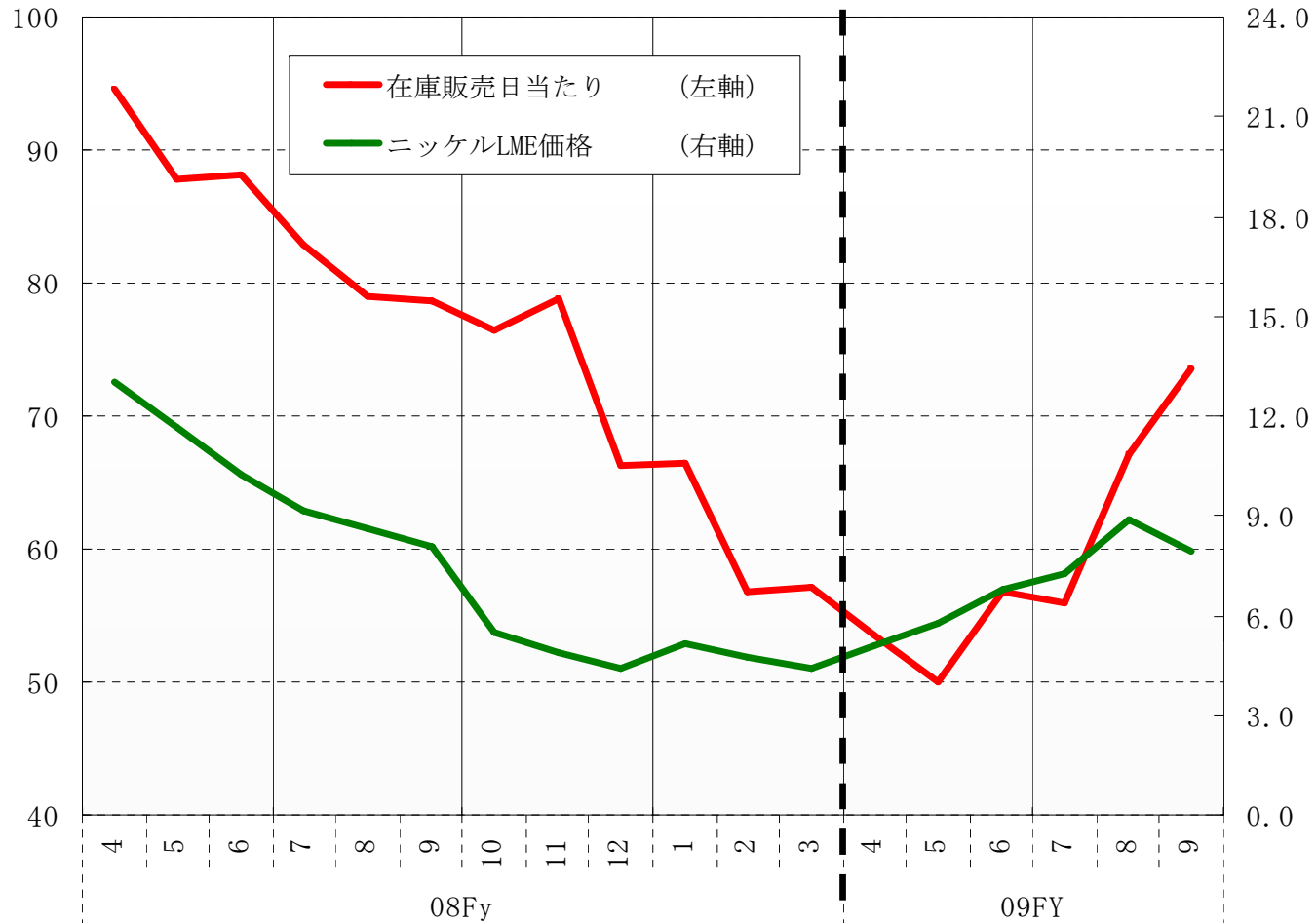
# 連結営業利益変動要因分析(前年同期比)



# ステンレス在庫販売数量推移

(06.4=100)

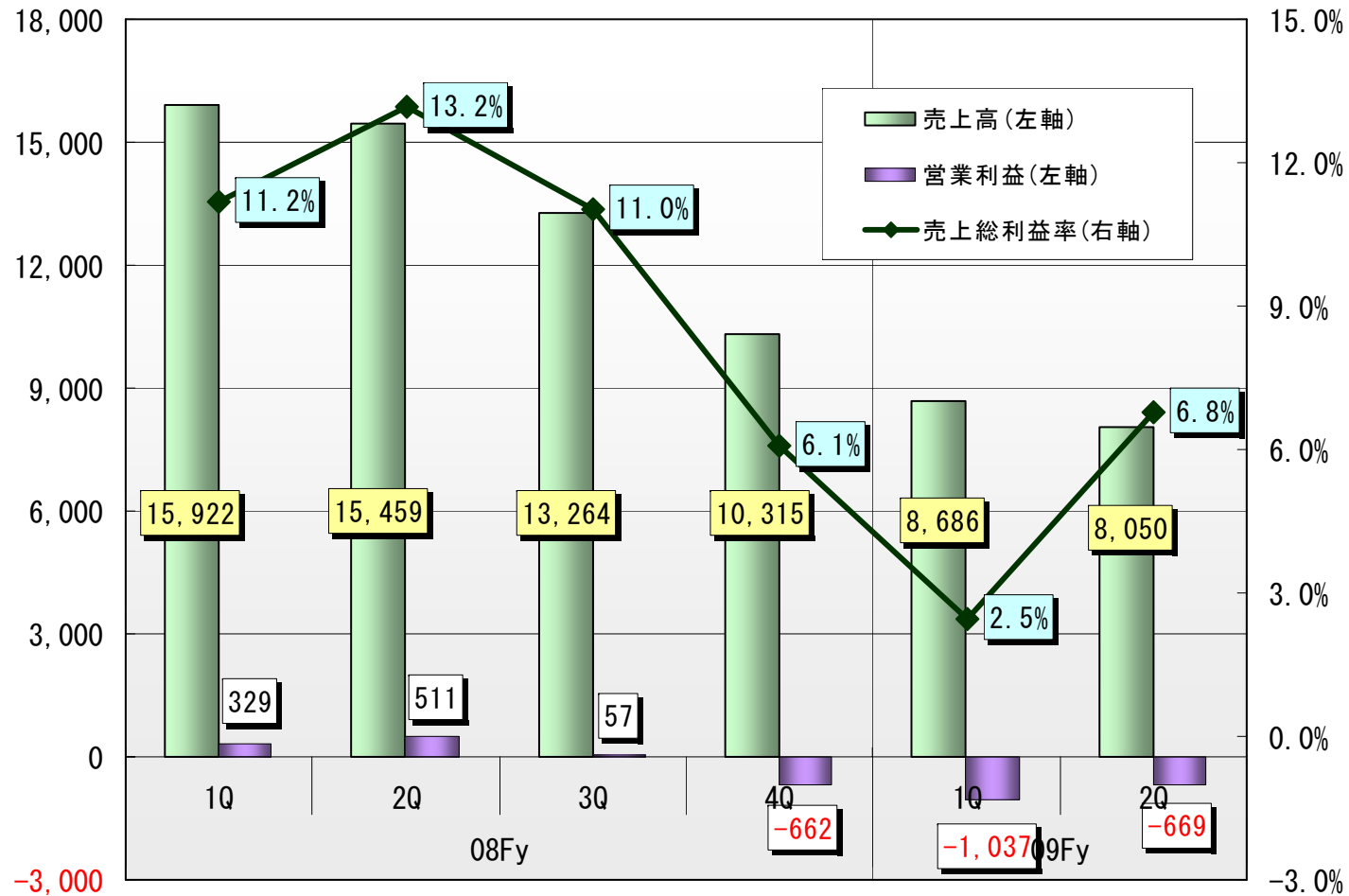
(\$/lb.)



■ 昨年から激減していた販売数量は09.5をボトムに回復傾向。

# 売上高・売上総利益率・営業利益四半期別推移（連結）

単位：百万円



- 08FY 1Q以降急落していた売上高の下落幅が縮小。
- 売上総利益率は09FY 1Qを底に回復。



# 販売費及び一般管理費(連結)

単位：百万円

	09/9実績	前年 同期比	08/9実績
売上高	16,736	-46.7%	31,380
販売費及び一般管理費	2,466	-17.1%	2,977
(売上高に占める割合)	(14.7%)		(9.5%)
(うち 人件費)	1,375	-15.7%	1,632
(うち 荷造運搬費)	346	-22.4%	446
(うち 家賃地代・賃借料)	146	-1.5%	149
(うち 減価償却費)	153	+0.0%	153

- 当社人件費 : 職位に応じ年収を対前年比18~50%削減。
- 当社運搬費 : 減車および配送ルートの見直し。

# 連結貸借対照表

単位：百万円

	09/9/30 現在	09/3/31比	09/3/31 現在
<b>資産の部</b>			
流動資産	18,005	-29.1%	25,386
(うち 受取手形及び売掛金)	7,689	-34.8%	11,800
(うち 商品など)	7,901	-27.5%	10,903
固定資産	9,656	+2.0%	9,466
<b>資産合計</b>	<b>27,661</b>	<b>-20.6%</b>	<b>34,852</b>
<b>負債の部</b>			
流動負債	16,021	-25.3%	21,446
(うち 支払手形及び買掛金)	8,465	-39.4%	13,971
固定負債	2,892	-5.2%	3,051
<b>負債合計</b>	<b>18,913</b>	<b>-22.8%</b>	<b>24,497</b>
<b>純資産の部</b>			
<b>純資産合計</b>	<b>8,748</b>	<b>-15.5%</b>	<b>10,355</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>27,661</b>	<b>-20.6%</b>	<b>34,852</b>

- 販売・仕入の減少により受取手形及び売掛金、支払手形及び買掛金が減少。
- 販売数量減少に対応すべく在庫を圧縮したことにより棚卸資産減少。

# 連結キャッシュフロー計算書

単位：百万円

	09/9実績	08/9実績
営業活動によるキャッシュフロー	53	497
投資活動によるキャッシュフロー	-62	-329
財務活動によるキャッシュフロー	48	-79
現金及び現金同等物に係わる換算差額	6	0
現金及び現金同等物の増減額	44	90

# セグメント別会社一覧

単位：百万円

事業区分	会社名	資本金	出資比率 (%)	売上高		事業内容
				09/9実績	08/9実績	
【第1セグメント】 ステンレス鋼などの販売	U E X (当社)	1,512	—	16,736	31,380	ステンレス鋼などの在庫加工販売
	U E X 管材	12.8	79.4	385	821	鋼管、鋼材、継手類の販売
	日進ステンレス	20	100	214	687	半導体装置用ステンレス鋼管の販売事業
	ナカタニ	10	33.6	2,162	1,929	鋳造品・鍛造品・機械部品などの設計・加工
	S P E X	千NT\$ 10,000	40	666千NT\$	—	チタン展伸材などの輸入販売
	ステンレス急送	10	100	175	200	貨物自動車運送業
【第2セグメント】 加工製品の製造・販売	大崎製作所	15.5	100	275	371	有圧換気扇ウェザーカバーのOEM生産
	上海U E X	千US\$ 1,520	100	561千元	6,017千元	鋼管加工製品の製造・販売
【第3セグメント】 機械装置 エンジニアリング	上野エンジニアリング	60	90	352	729	一般産業用機械装置の設計・製作
	三益U E X	10	100	160	176	鋼管製造用機械の製造・販売

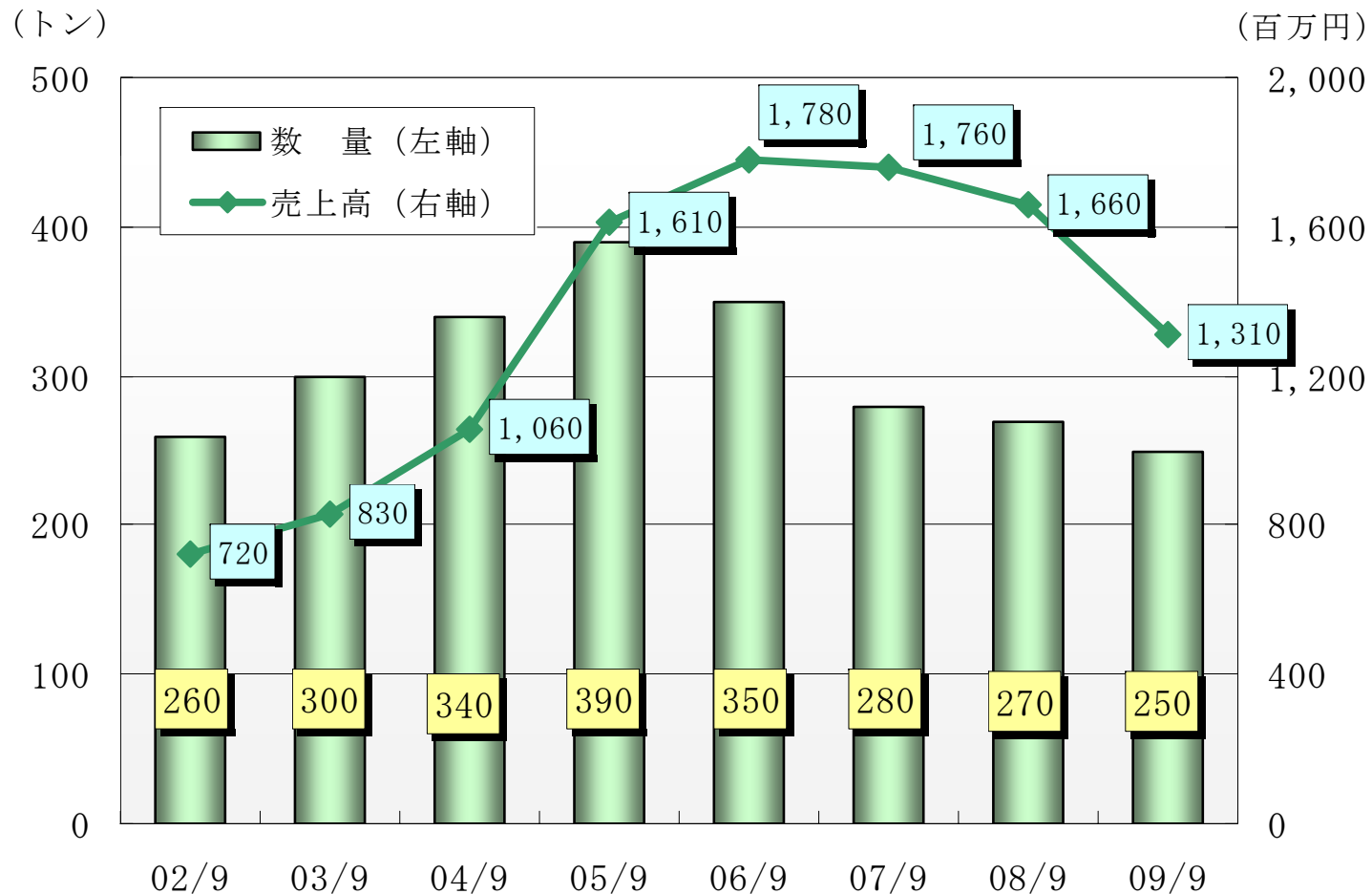
# セグメント別の状況

単位：百万円

		【第1】 ステンレス鋼 などの販売	【第2】 加工製品の 製造・販売	【第3】 機械装置 エンジニアリング	消去又は全社	連結
09/9期	売上高	16,100	270	366	—	16,736
	前期比	(-46.5%)	(-41.1%)	(-56.7%)	—	(-46.7%)
	営業利益	-1,602	-33	-91	20	-1,706
	前期比	(—)	(—)	(—)	(-18.6%)	(—)
08/9期	売上高	30,078	459	844	—	31,380
	営業利益	735	10	70	25	840

- ステンレス販売事業は需要減少による数量激減と競争激化による販価急落。
- 加工製品事業は建築分野の需要落ち込みと自動車部品関連における在庫調整の影響。
- 機械・エンジ事業は企業の設備投資抑制・延期などの影響。

# チタンの販売概況



■ チタン展伸材メーカーの出荷高は前年同期比56%減少。当社においては羽田沖プロジェクトの売上計上により同7%減少にとどまる。

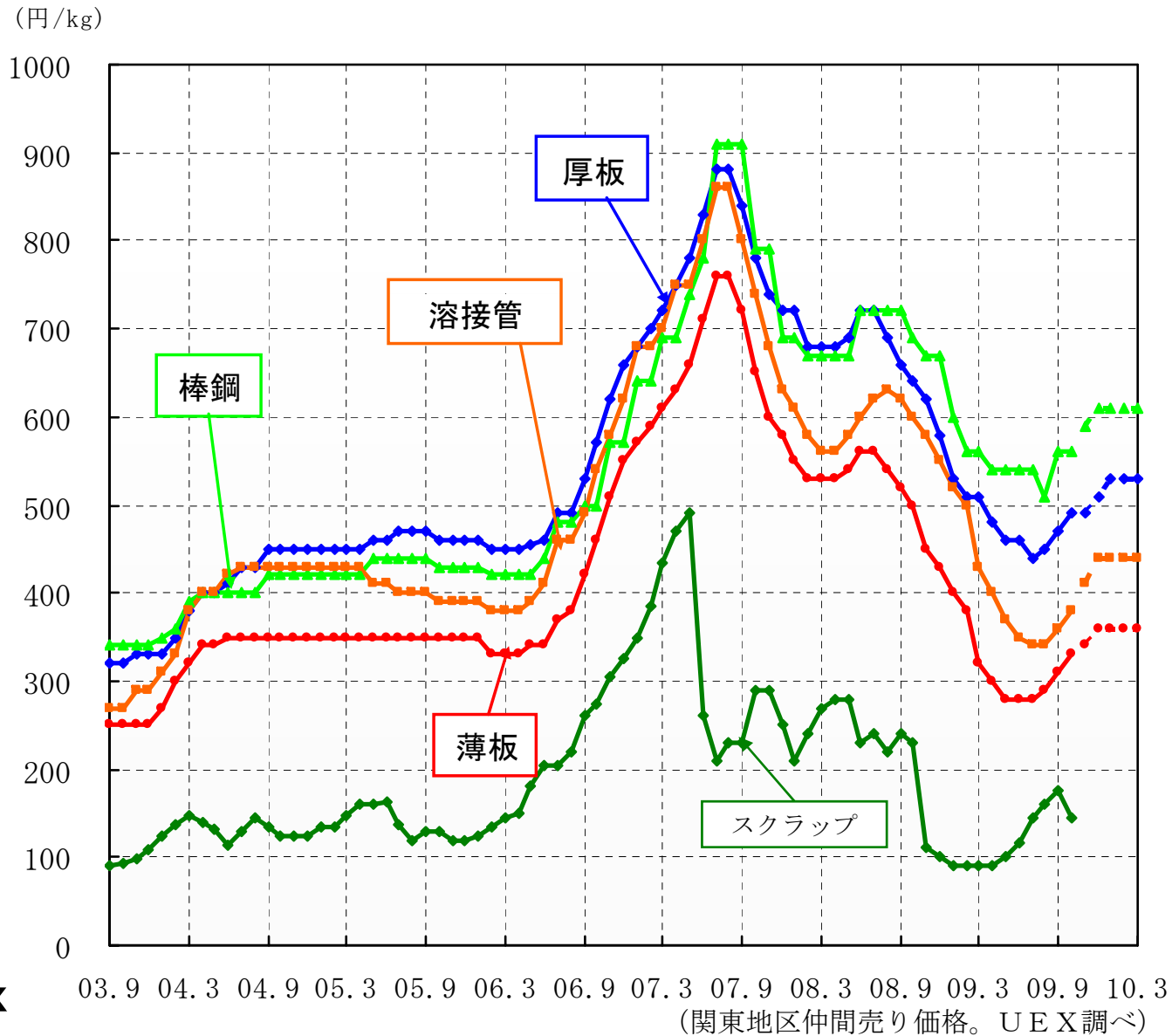
## 2010年3月期連結業績見通し

単位：百万円

	上期	下期	10/3計画	前期比	09/3 (実績)	《参考》 10/3計画 【単体】
	①	②-①	②			
売上高	16,736	19,664	36,400	-33.8%	54,960	35,200
売上総利益	760	2,420	3,180	-46.1%	5,904	2,750
(率)	(4.5%)	(12.3%)	(8.7%)	—	(10.7%)	(7.8%)
営業利益	-1,706	36	-1,670	—	235	-1,600
経常利益	-1,767	-73	-1,840	—	26	-1,680
当期純利益	-1,682	-78	-1,760	—	-276	-1,690

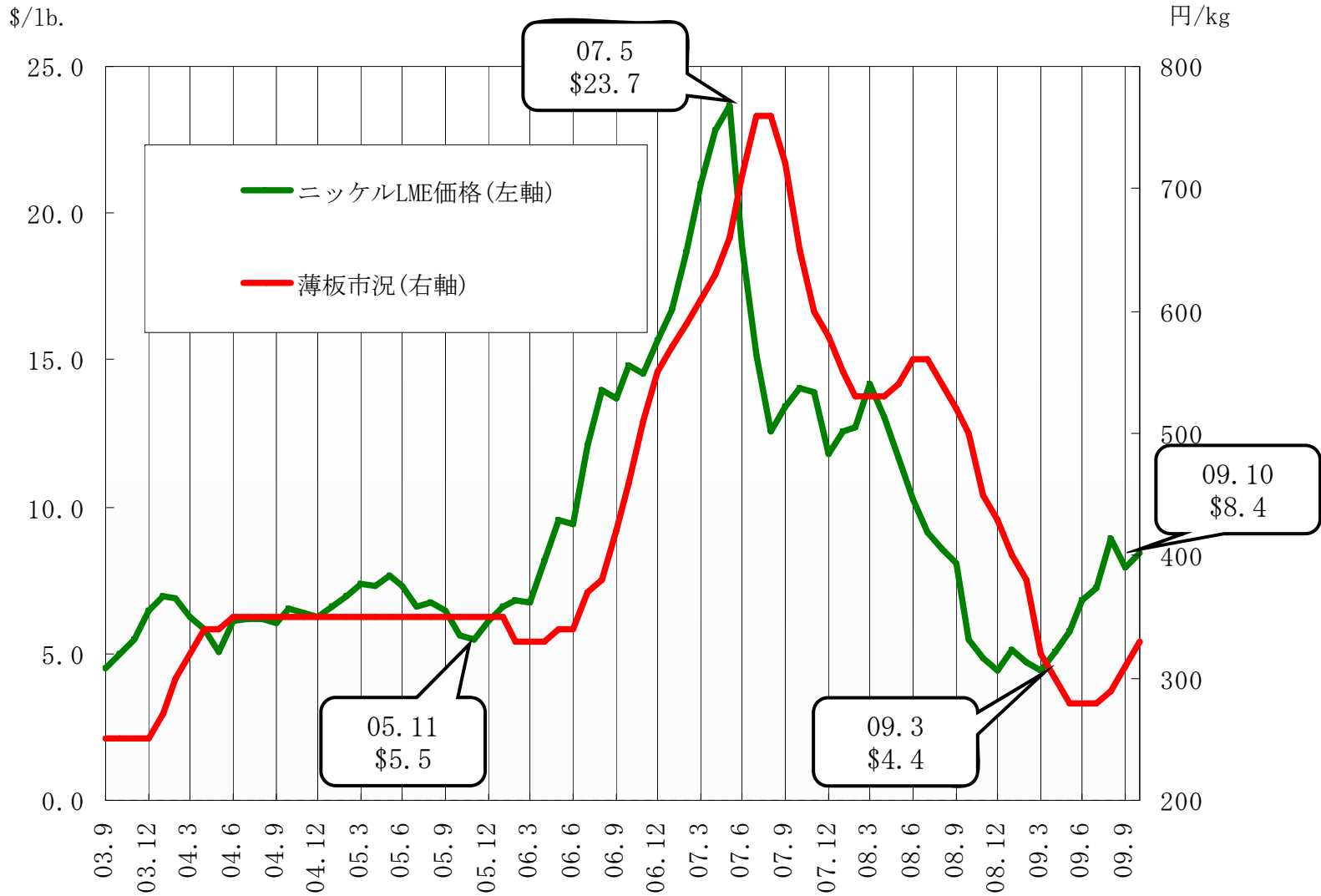
- 上期を底に最悪期を脱するものの、通期でも大幅赤字見通し。
- 2010年4月を起点とする中期経営計画「『志』登頂計画」を策定中。

# ステンレス市況推移



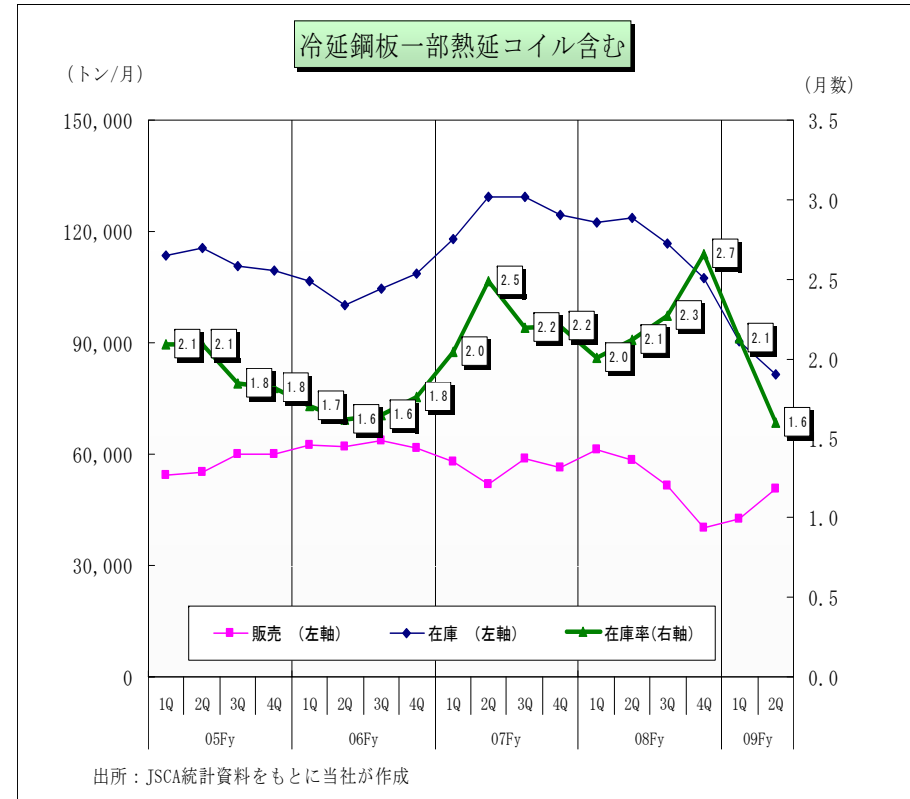
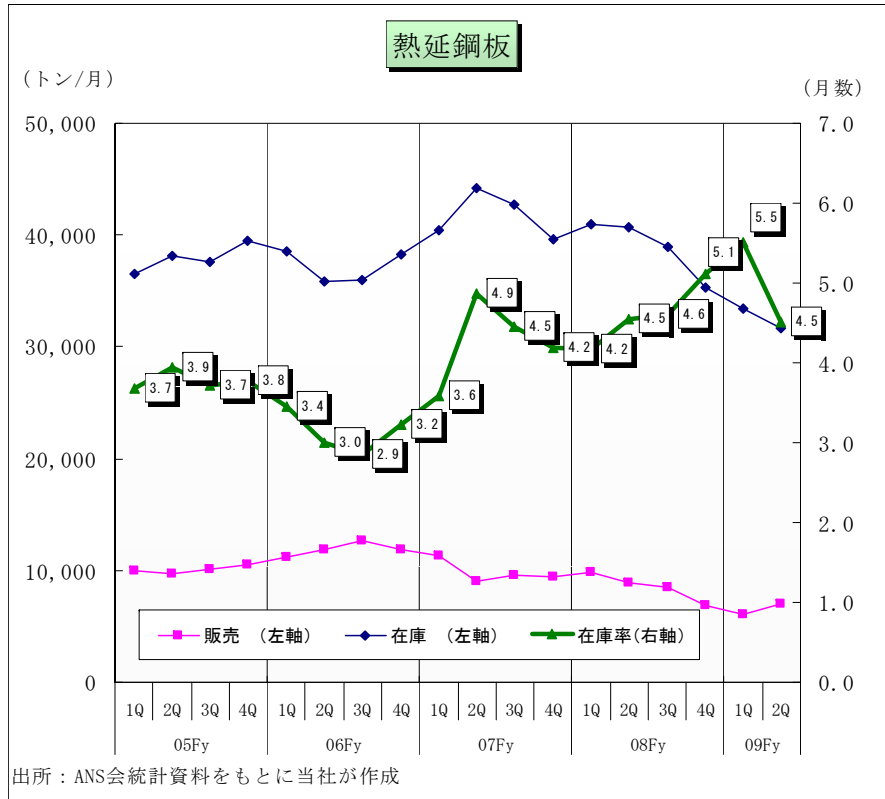


# ステンレス価格とニッケルLME価格の推移



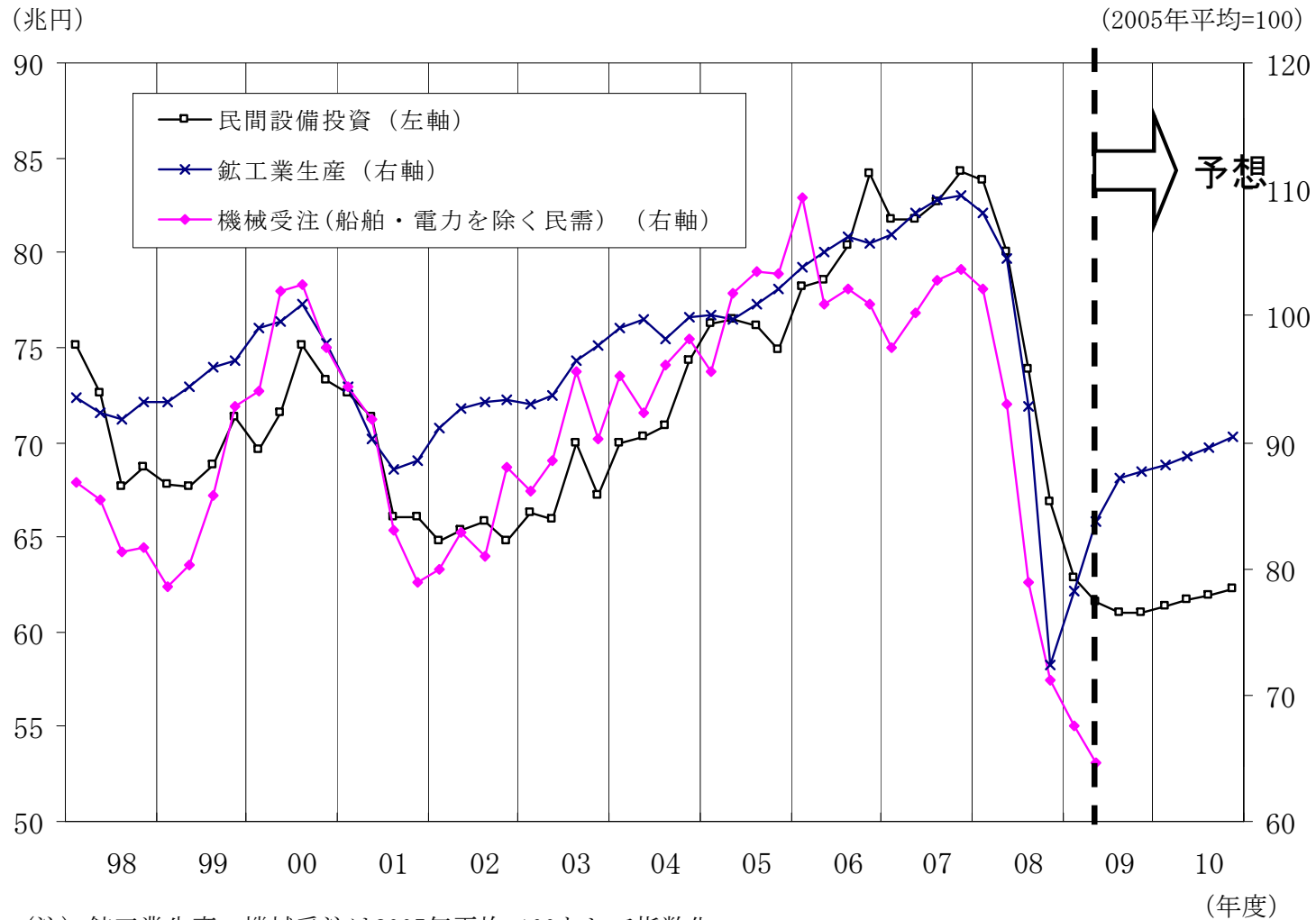
出所：UEX調べ（薄板市況）

# ステンレス鋼板市中在庫状況



■ 熱延・冷延ともに在庫調整の進展により在庫率は改善傾向。

# 民間設備投資・鉱工業生産・機械受注推移



(注)：鉱工業生産・機械受注は2005年平均=100として指数化  
 機械受注の09.1Qは内閣府見通し、民間設備投資・鉱工業生産の09.1Q-10.4Qは新光総合研究所予想  
 出所；内閣府、経済産業省資料を基に新光総合研究所が作成

# 補足資料

## 会社概要（2009年9月30日現在）

商号	株式会社U E X
設立	1955年1月14日
資本金	15億1,215万円
発行株式総数	12,000,000株
株主数	3,112名
従業員数	315名

# 当社の取引概要

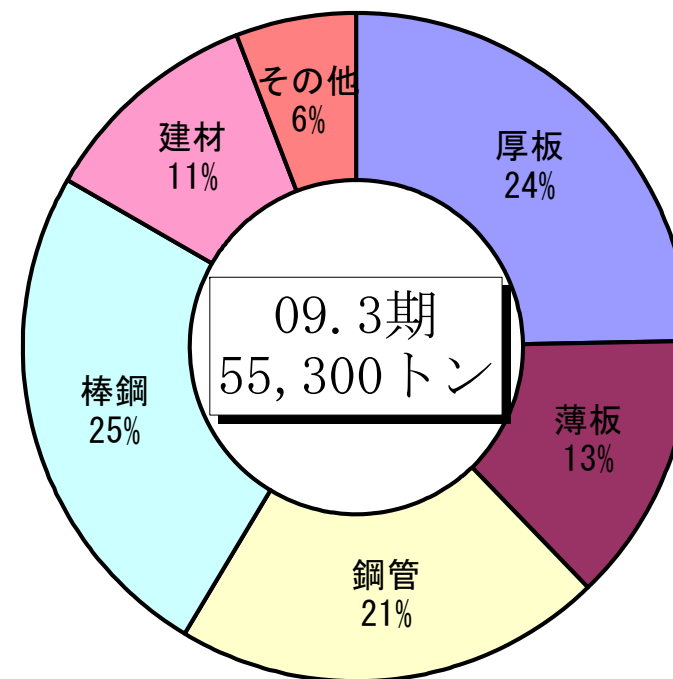
## 販売先

IHI、岩井機械、荏原製作所、新日鉄エンジニアリング  
 日本フイツヤ、月島機械、東芝、森松工業（50音順）  
 09.3期取引先総数 2,297社

## 仕入先

品種	主な仕入先
ステンレス鋼板	新日鉄住金ステンレス(株)
ステンレス鋼管	住友金属工業(株)
ステンレス棒鋼・建材	大同特殊鋼(株)
チタン	新日本製鐵(株) 大同特殊鋼(株)

ステンレス販売における品種構成



- 当社売上高の80%以上がステンレスの販売に拠ります。当社が販売するステンレスは厚板・棒鋼・鋼管を中心として主に工場生産設備などの資本財として使用されております。

# ステンレス・チタンの商流における当社の機能

ステンレス・チタンの商流における当社機能は、大きく二つに分けられます。一つは商社機能、もう一つは問屋機能です。問屋の代表的な機能は以下のとおりです。また、当社の場合、商社機能（ひも付き）と問屋機能（店売り）の取扱は概ね半々です。

1. 在庫機能
  - ・必要な量を提供する小ロット対応
  - ・需給の時間差を調整する機能（短納期対応）
2. 物流・切断加工機能
  - ・ユーザーのニーズにお応えする切断加工
  - ・速やかできめ細かいデリバリー
3. 支払い条件の差を埋める金融・与信機能

商社機能（ひも付き）と問屋機能（店売り）における商流は下図のとおりです。

